

The University Times

June 2011 Vol. 11

<http://jtimes.jp/utimes>

produced by IELTS by STEP × The Japan Times ©THE JAPAN TIMES, LTD. 2011

CONTENTS

■ Visit a Global Company : グローバル企業訪問 株式会社ニフコ 1 2	■ Journalist's Eye : 英字新聞記者の視点 「福島原発」 / 「記者クラブ」 3	■ Shu-katsu Counseling : 就活の不安を解消しよう インターンシップについて考えよう 5	■ IELTS : テスト対策 リーディング対策のコツ 7
	■ English for Careers : 就活英語を学ぼう カバーレターの書き方 4	■ University's Challenge : 国際交流に取り組む大学 青山学院大学「チャットルーム」 6	■ News in English 英文記事を読んでみよう 8

Visit a Global Company : グローバル企業訪問

自動車向け プラスチック・ファスナーで 世界トップシェアを誇る

Vol. 1 株式会社ニフコ NIICO

ニフコは1980年代から海外進出を始め、現在ではその事業フィールドを世界17カ国に広げているグローバル先進企業だ。そんな同社が考える理想の人材とは。人材開発に携わる担当者と通訳・翻訳者として活躍する社員に話を聞いた。

ニフコは、1967年にプラスチック工業用ファスナーの製造、販売を目的に創立された会社だ。中でも、工具を使わずにワンタッチで留められるプラスチック・ファスナーは、自動車向けの部品として国内トップシェアを誇っている。そのほかにも、リュックサックのバックルや家の引き戸、システムキッチンの引き出しをスムーズに開けるための部品など、私たちの身近にあるさまざまな部品の製造を手がけている。「私たち部品メーカーが行うのはB to Bのビジネス。かつては日本で作り、それを海外に輸出するという形を取っていましたが、自動車メーカーをはじめとするお客様がグロー-

バルなモノづくりに移行する中で、ニフコも海外に拠点を進出させ、地産地消と言いますか、お客様のニーズのある所で製造・販売を行うようになっていきます」

そう語るのは、人材開発本部で本部長を務める吉丸由紀子さん。現在、ニフコの海外拠点は28拠点。グループ社員5,000人のうち4分の3は外国籍である。さらには、プラスチック事業の全売上の6割が海外、残り4割の国内売上についても、その半分以上を輸出が占めているなど、今や世界をまたに掛けるグローバル企業だ。「そうすると当然、国内だけで閉じて仕事するということはあり得ません。採用から人材



株式会社ニフコの主力商品である樹脂ファスナー。部品同士を締結する機能を持ち、自動車をはじめとした産業界では欠かせない



話を伺った株式会社ニフコ人材開発本部本部長の吉丸由紀子さん

育成の部分でもグローバル化は待たなしの状況となっています」

その結果、ビジネス共通語としての英語を用いてのスピーディーな対応が、現場レベルで求められるようになってきた。言葉が壁となってチャンスを逃すことのないよう、社員全体の英語力の底上げは極めて重要だと吉丸さんは話す。

「もちろんネイティブレベルの英語力までは求めています。しかし、業務の上では毎日のように英語でコミュニケーションを行うチャンスがありますし、会社としても、語学力向上、異文化環境でのビジネス遂行力向上を目的とする『トレーニー制度』などの研修制度も設けています。社員には、決して上手に話せなくても、積極的にコミュニケーションを図れるレベルにまで到達してもらいたいことが希望です」

ライバルは日本人だけにあらず

こうしたグローバル戦略を推進するニフコが、今求める人材像とは？

「広い視点を持ち、変化を作れる人材。さら

には、異なる文化やビジネス習慣に柔軟に対応できる適応力。もちろんこれらを実行するには語学力は必須です。どんなにいい中身を持っていても、コミュニケーションができて初めて相手に伝わるのですから」

また、同社ではダイバーシティ（多様性）の推進に力を入れており、グローバル市場での競争力アップを目指して、外国籍社員および外国人留学生の採用を積極的に行っている。

「採用は決して日本人だけに限定していません。弊社の社長は無類のサッカー好きなのですが、『プレミアリーグのマンチェスター・ユナイテッドに、イギリス人は果たして何人いるだろう？ 強いチームというのは多様性からなるものだ』ということをよく言っております。私たちは、日本人と外国人との多様性による健全な摩擦が、相互の意識改革と新たな付加価値の創出をもたらすと考えています」

毎年、同社の新入社員の1～2割は留学生や外国籍だという。留学生の採用は他社でも行われているだろうが、同社では人事

Visit a Global Company

グローバル企業訪問

の担当者が海外にまで飛び、現地学生の採用も行っているという。

「もちろん日本人でも優秀な人材はたくさんいます。しかし、グローバル競争力という観点でおしなべて見たとき、日本人の物足りなさが際立って見えるのも事実です。わざわざ日本に学びに来ている留学生は総じて高い問題意識を持っています。先ほど挙げた、グローバル視点を持っているかなどの要件を意識して採用活動を行えば、外国人が増え

ていくのは当然の流れといえるでしょう」

一方で、日本から海外へ留学する学生は、2004年をピークに減少が続いている。その理由として、不況や就職活動の早期化、学生の内向き志向などが考えられている。「ただ、仮にほかの条件が同じだとしたら、われわれとしては留学に行ったことは明らかにプラスとして評価するのですが…」と吉丸さんは言う。

「今や日本の学生だけで就職活動を争う時

代ではありません。TOEIC900点を持っていても内定を取れないような海外の学生が、日本に活躍の場を求めてやってきているのです。企業側としては優秀な学生であれば国籍は関係ありません。日本の学生のみなさんは、もっと危機感を持つべきでしょう」

世界のマーケットが欧米からアジアに移りつつある中、同社の採用活動もアジアを中心に強化中。「世界のNIFCO」の成長を支える「人材」育成は今後さらに加速していく。

NIFCO

株式会社ニフコ

1967年創立。主にプラスチック製工業用ファスナーを中心に製造する大手部品メーカー。主に日系自動車会社に部品を卸しており、その国内シェアは7割を誇る。近年では、燃費軽減を掲げる自動車メーカーが、車の軽量化に向けて金属部品をプラスチックに置き換える動きが増加している。そのほか、家電製品、住宅設備、スポーツアパレル分野にも製品を提供。日系企業の海外進出とともに同社も海外に進出し、現在では17カ国に拠点を置く。社員の7割が外国人。傘下に英字新聞のジャパンタイムズ、高級ベッドのシモンズを擁する。
http://www.nifco.co.jp/

グローバル企業の先輩に聞く！

求められているのは語学力よりも 伝えられる表現力が大切

小澤 野笛 さん

株式会社ニフコ
人事部付

関西外国語大学卒。在シンガポール日本国大使館などで勤務後、東京外国語大学大学院修士課程へ。卒業後、米州開発銀行アジア事務所を経て現在に至る。実用英語技能検定1級、TOEIC 990点。趣味はロードバイクと名言収集

Q. 小澤さんのお仕事内容を教えてください

A. 現在はニフコとグループ企業であるジャパンタイムズの仕事を半々くらいで担当しています。ニフコでの仕事としては、英語ネイティブである役員のコミュニケーションをサポートする役目として、書類の翻訳作業や会議の通訳、秘書業務などをメインに行っています。時には契約書や財務諸表の翻訳も任されるのですが、これらの専門的な書類についても意味が理解できないと翻訳ができないので、

毎日が勉強です。入社した時は、常務の通訳として採用されたはずなのですが、今では各部署から翻訳・通訳を依頼されるようになりました(笑)。大変ですが、その分、視野も広がり、やりがいを感じています。

Q. 英語を仕事に生かそうと思ったきっかけは何ですか

A. もともと帰国子女でもなんでもなく、一般の人と同じように、「This is a pen.」で英語と出合いました。その後も英語はずっと好きで勉強を続け、大学は英米語学科に進

学。卒業後は外務省が行う在外公館派遣員制度に応募し、2年間、シンガポールの日本大使館で勤務しました。主にシンガポールを訪問する政府関係者や要人のサポートを行ったのですが、この時に任された政府高官の通訳の体験が、英語をもっと極めたいという気持ちにしてくれたのです。思い返してみると、よくあんな語学力で通訳していたなと思うのですが…。

帰国後は働きながら週末だけ学校に通っていたのですが、中途半端に両立するよりも集中して勉強しよう一念発起し、大学院に入り直しました。大学院では2年間、通訳の基礎をみっちり叩き込まれ、ようやく人並みにレベルアップできたと感じています。その後、米州開発銀行で働いている時にニフコの募集を見つけ、今に至っています。

Q. これまでの仕事で思い出に残っているエピソードを教えてください

A. 昨年、海外からクライアントが来日した際、会長、社長、役員が一堂に会する会談が行われ、この時、通訳者が私ひとりだったため、6時間ずっと通訳を任されるという大仕事を経験しました。トップ同士の会談で、どう通訳するかで商談を左右しかねない緊張感の中、冷や汗ダラダラ、体はクタクタでしたが、終わった時は達成感でいっぱいでした。

当然ですが、すべてが完璧に通訳できたことなんて、これまで一度もありません。通訳にとって重要なのは、単なる言葉の言い換えではなく、相手が何を言いたいのかというメッセージを理解して、正しく伝える橋渡しになることです。極端な例ですが、部屋に入った時、日本人が「この部屋暑いね」と言った場合は、「では窓を開けましょう」となるのですが、外国人の場合は「うん暑いね」で終わってしまうことがあります。中立の立場に立って訳すことが前提なのですが、暗に窓を開けてほしいということまでを酌み取って訳してもい



1日の翻訳作業は日によって異なる。急に膨大な量の翻訳を依頼されることも

いものか。瞬間、瞬間でこういった判断を迫られることは、通訳の難しさでもあり面白さでもあります。常にもっとうまくやりたいという気持ちを持ちながらやっています。

Q. 学生に向けてアドバイス、メッセージをお願いします

A. 今、留学する学生が減っているということですが、もしもチャンスがあるのであれば絶対に行くことをオススメします。私自身も大学時代、1年間アメリカに行きましたが、語学力のスキルアップ以外にも、実際に異国の常識を肌で感じたり、さまざまな人たちと出会ったことは、今の仕事の糧になっています。そして20代のうちは、失敗を恐れずにいろいろなおことにチャレンジしてほしい。私もチャレンジする中で、通訳という目標と、その同じ目標を目指す仲間に出会いました。その仲間たちとは、今でもスカイプを使って通訳の批評をし合うなど、常に刺激し合える関係です。最後になりましたが、この言葉を学生のみなさんに贈りたいと思います。「Some people want it to happen, some wish it would happen, others make it happen.」(ある人はそれが起こってほしいと心に思う。ある人はそれが起こってほしいと切望する。だけどもある人はそれを自ら起こす) ~ Michael Jordan

小澤さんのお仕事アイテム拝見



「電子辞書は私の命の次に大切なアイテム。肌身離さず持ち歩いているため、過去2台は落として壊してしまいました(笑)。現在使用しているのは3目です。主に使用するのが、和英辞典、英英辞典、類語辞典。英語は同じ言葉を繰り返すことを嫌うため、意外と類語辞典は使う頻度が高いのです」

Journalist's Eye

英字新聞記者の視点

日本のニュースを英語で発信しよう！

英字新聞 The Japan Times 記者が語る
日本の「今」を世界に伝えるための心得

—— Vol. 1 by Kanako Takahara

日本で起こっていることを外国人に伝えるときに必要なのは、英単語の知識や会話力だけではない。物事の背景を理解し、それを外国人に分かりやすいように説明するスキルが求められるのだ。このコーナーでは、日本で発行されている英字新聞 The Japan Times の記者に登場いただき、最近の日本国内の話題と、それを外国人に上手に伝えるための方法を語ってもらう。自分が英語で説明するときの参考にしてみよう。



Fukushima のニュースは、世界の関心を集めている

■福島原発事故について英語で語ろう！

- The nuclear accident at the Fukushima No.1 Nuclear Power Plant was triggered after the March 11 earthquake and tsunami damaged the facility, disabling the cooling systems of its reactors.
- 福島第一原子力発電所の原子力事故は、3月11日の地震と津波が施設に損傷を与え、原子炉の冷却システムが機能しなくなった時に始まった。
- In April, the government raised its assessment of the severity of the nuclear crisis to level 7, the highest on an international scale and the same category as that of the 1986 Chernobyl nuclear accident.
- 4月に政府は、原子力危機の重大さの評価をレベル7に上げた。これは、国際基準の最高値で、1986年のチェルノブイリ原発事故と同じレベルである。

福島原発事故が起こった当初、海外メディアは放射能汚染の危険性を強調した、かなりセンセーショナルな報道を行っていました。東京に住む外国人記者たちは、「やはり日本から出たほうがいいのだろうか」などと話していたりしたもので

す。一方、日本のメディアは政府や東京電力、原子力安全・保安院などの発表を比較的冷静に伝えていましたが、海外に向けて英語で積極的に発信しようというメディアはそれほど多くありません。そこで、日本のニュースを英語で伝える The

Japan Times としては、海外メディアと日本のメディアの中間に立ち、実際に起こっていることを、冷静かつ客観的に英語で発信しようと考えたのです。

日本でこれだけ大きな原発事故が起こったのは初めてのことで、私を含め、記者は皆、原子力について理解するために、自分なりに勉強を重ねました。「放射能」「放射線」「放射性物質」など使い分けが難しい言葉について、私はホテルの例えで理解しました。放射性物質はホテルで、放射線はそのホテルが出す光、放射能とは、ホテルが光を出す能力と考えればいいのです*1。

■誤解を招きそうな表現は具体的に説明

専門的な用語を英語にするときには、特に注意が必要です。例えば「炉心溶融」は一般には meltdown (メルトダウン) と訳されますが、実際に記事の中で meltdown と言ってしまうと、燃料を

困む容器がすっかり溶け、放射性物質が大量に漏れ出しているかのような印象を与える恐れがあります。こういう場合、nuclear fuel rod is melting (燃料棒が溶けている) のように、具体的な言い方で説明したほうがよいと思います。

震災直後、日本に住む外国人にとって、英語で得られる情報は限られていたため、The Japan Times は震災後約1カ月間、大使館の移転情報、寄付の方法、身の回りの生活にかかわる情報などを、毎日掲載していました。一方、インターネットで一部記事を公開しているため、国内だけでなく、海外からも反響が集まってきました。原発事故の対応に政府がこれだけ長い期間追われるという状況は世界でも例がなく、どう収束させていくのか、世界中の人々が注目しています。これからも正確な情報を英語で発信し続け、風評や誤解で余計な混乱が生じることをないようにしたいと思っています。

*1 資源エネルギー庁資料より

■「記者クラブ制度」を説明しよう！

- Kisha clubs are mainly attached to government ministries and industries, and their members generally belong to major newspapers, broadcasters and wire services.
- 記者クラブは主に政府省庁や産業界に設けられ、会員は一般に主要な新聞社、放送局、通信社に所属している。
- In many cases, however, their membership is limited to major domestic news organizations, triggering criticism for screening out foreign press, magazine reporters and freelance journalists.
- しかしながら多くのケースにおいて、会員資格は主要な国内報道機関に限られ、海外メディア、雑誌記者、フリーのジャーナリストを排除していることで、批判を引き起こしている。

今回の震災・原発事故を機に、大勢の外国人記者が来日しましたが、皆「記者クラブ」という制度の存在に戸惑っていたようでした。記者クラブは、大手新聞社・テレビ局・通信社の記者から成る組織で、政府省庁や業界団体などが記者会見を開く際、通常、記者クラブの会員だけが出席できます。これは日本独特のシステムで、海外では、記者としての身分を証明するものさえあれば、たいてい誰でも政府や企業の記者会見に出席できます。日

本の記者クラブは本来、報道する側の権利を守るために存在するのですが、政府や企業と記者の関係が近くなりすぎ、突っ込んだ質問ができなくなっているのではないかと批判もあるのです。

■「自由報道協会」の誕生

例えば、震災当日、東京電力の勝俣恒久会長は、マスコミOBらとともに中国を訪問、記者たちの旅行費用の一部を東京電力が負担したということが明らかに

なりました。原発事故報道に関しては、福島原発3号機からプルトニウムが漏れていたことが分かった際、それまで記者クラブの記者から事実を追及する質問が一切出なかったという点が、問題視されました。こういった状況を変えていこうと、2011年1月にフリーのジャーナリストらが「自由報道協会」を設立。記者会見の開放を訴える一方、話題の人物の会見を自分たちで設定し、出席者を広く募るといった活動を行っています*2。

■官邸記者会見のインターネット中継

政府の中でも、より広く情報を発信し

ようという動きがようやく起こり、まず官邸での記者会見に海外メディア向けに同時通訳が導入されました。さらに3月17日から毎日行われている官邸記者会見がインターネット・メディアで生中継され始めたのです。

The Japan Times は記者クラブの会員ですが、外国人向けに英語で発信するという、特異な立場にいる存在でもあります。フリーのジャーナリストや海外のメディアの人たちの声に耳を傾けながら、これからも「記者クラブ」という非常に日本的な存在を、客観的にとらえていきたいと思っています。

*2 参考記事 <http://search.japantimes.co.jp/cgi-bin/nn20110503f1.html>

自由報道協会が主催している会見の様相

●今月の記者●

高原加奈子さん
KANAKO TAKAHARA

1998年ジャパントイムズ入社。政治記事を担当する傍ら、原発関連の取材の中心的役割を担う。現在はデスクを務める。

English for Careers

就活英語を学ぼう

第1回

就職には英語が必要？

by 株式会社アイベック スコット・シーリー、植草 良將

皆さん、はじめまして。最近では英語を公用語にする企業が増えてきており、大学生の皆さんの中にも「外資系企業でバリバリ働いてみたい」「英文履歴書はどう書いたらいいの？」といった意欲や疑問をお持ちの方もいらっしゃると思います。今回から10回にわたって、英文履歴書の書き方や英語面接の受け方、英文Eメールの書き方など、グローバル時代のキャリア形成で必要になる英語の基本スキルについてご紹介していきます。

なぜ英語が必要なのか

グローバル化が進む現在、日本企業は海外に出ることを余儀なくされ、この傾向はますます加速していくものと思われます。

皆さんにとっても、今までは日本人の同期生だけがライバルであったのが、これからは世界中の優秀な人々と競争していく必要があります。これには、企業が現地採用を進めるなど、さまざまな国の人たちが採用されるようになっていることが背景にあります。

新入社員研修では文系、理系を問わず英語は必須となり、就職後のスタートダッシュを考えるのであれば、入社時点でも英語力はさらに必要となるでしょう。

英語の資格

就職活動に当たっては、外資系企業は当然のことながら、日本企業に対しても、英語力をアピールするため、英語に関する資格を取っておくとよいでしょう。

英語力のレベルの目安は、英検準1級ないしそれ以上です。また、即戦力をアピールするならビジネスパーソン向けの英語能力テストBULATS（ブラッツ）も存在感が高まってきています。BULATSでは、結果に応じて6段階に判定され、一般企業なら上から4番目のB1（Lower Intermediate）、商社なら上から3番目のB2（Upper Intermediate）を目安とするといいでしょ。

お決まりの表現を押さえておく

しかし、皆さんの中にはさらに上を目指し、応募にも英語書類が必要な外資系企業を志望している方もいらっしゃるのではな

いでしょうか。そのような方でも「さすがに英語の書類や面接なんて気が重いな！無理かもしれない！」と思われるかもしれませんが。

でも大丈夫です。英文の書き方は、難しく見えて、実は型がきちり決まっているのです。お決まりの表現をいくつか押さえて、自分に当てはまるフレーズを入れこんでいくだけでも作れてしまうもの。そんなに構える必要はありません。

逆に、英語と聞くだけで敬遠するライバルも少なくないですから、これからお教えするポイントを押さえて積極的に応募すれば、志望企業にぐっと近づくことになるでしょう。

カバーレターの書き方

それでは、就職活動ではどんな英文書類が必要になるのでしょうか。日本語の場合とは若干異なり、下記の2点を提出するのが一般的です。

①カバーレター：送り状と自己PRを兼ねた内容

②レジュメ：履歴書と職務経歴書を兼ねた内容（CVとも呼ばれます）

今回はカバーレターの書き方についてご紹介します。構成は下記ようになります。

件名：何に応募するかを書く。

第1段落：応募先の職種や、何を応募したかを書く。

第2段落：自分の強みを短くまとめた自己PRを書く。

第3段落：面接をお願いする。

右の例文はカバーレターの具体例です。英文書類ではあまり謙遜せず、「自分はこのようにすごいです！」と超ポジティブ思考で書きましょう！

《カバーレターの具体例》

Subject: Salesperson: Application for Employment
Dear Sir or Madam,

（書き出し：応募先の職種）

I am writing to apply for the position of salesperson as advertised on your website, and have attached my resume for your consideration.

（自己PR）

As you will see from my resume, **I have a number of skills that I am confident can bring great benefits to your company.** While I do not have an extensive amount of work experience, **I have a strong work ethic, a high capacity for learning and the ability to grasp things quickly.**

（面接の依頼）

I would very much appreciate the opportunity to meet with you for an interview where we can discuss the possibility of my working for you in more detail.

I am looking forward to hearing from you.

Yours faithfully,
Takeshi Ogawa

《和訳》

件名：営業職への応募
ご担当者様

貴社のウェブサイトに掲載されておりました営業職にご応募いたしたくお便り差し上げております。レジュメを添付いたしましたので、ご検討いただければ幸いです。

履歴書にございます通り、私は貴社に多大な利益をもたらせると確信している技能を数多く有しております。職歴は豊富ではございませんが、確固とした労働倫理、高い学習能力と物事を早く理解する能力を有しております。

面接で、貴社にて働かせていただく可能性についてお話しできれば誠に有り難く存じます。

ご連絡をお待ち申し上げております。

敬具
小川 誠

● 重要なポイントを押さえておきましょう ●

■書き出し：応募先の職種

I am writing to apply for the position of...

書き出しの決まり文句です。応募先の職種は、読み手にとって最初に必要な情報です。英文のレターやEメールでは、書き出しで、何を目的とする手紙かを受け手にはっきりと述べてください。これは基本です。

as advertised on...

掲載媒体は、相手に必要な情報です。

■自己PR

I have a number of skills that...can bring great benefits to your company.

「貴社のお役に立てます」と自分を売り込みます。

I have a strong work ethic...quickly.

実務経験があまりない場合、素質をアピールします。

■面接の依頼

I would very much appreciate the opportunity...

仮定法のwouldで「もし面接に呼んでくださったら」という丁寧で謙虚なニュアンスが出ます（仮定法のwouldの例：I would like to participate in the meeting.「その会議に出席したく存じます」）。

I am looking forward to hearing from you.

前向きに締めくくる決まり文句です。前置詞toの後にingが来ます。ネイティブもたまに間違える箇所です。

Yours faithfully,

“Dear Sir or Madam”などと宛先を特定しない場合の結語です。“Dear Mr. Smith”など宛先を特定する場合は、“Yours sincerely,”で結びます。

いかがでしょうか？ ポイントを押さえればそれほど難しくないとことがお分かりいただけたと思います。英語の基本スキルを身につけて就活に役立てていきましょう。次回はレジュメの書き方についてご紹介します。

PROFILE

スコット・シーリー (Scott Seeley)
コーネル大学（ニューヨーク）で修士号（心理学）と学士号（生物学）を取得。英語学校マネージャーを経て、株式会社アイベック講師ビジネススライディングトレーニングマネージャー兼採用担当マネージャー。日本語と英語のバイリンガル。多数の企業より指名を受け活躍中。



植草 良將 (Yoshimasa Uekusa)
東京大学文学部卒業。東京大学大学院人文社会科学系研究科修士課程修了（専攻：言語学）。英文Eメールライティングなどの学習指導・教材開発を手がけている。実用英語技能検定1級。



世界基準のビジネス英語能力テスト

BULATS

The Business Language Testing Service

世界約47カ国1,172団体、
日本でもすでに350以上の企業・団体が採用詳細は www.eiken.or.jp/bulats

お問い合わせ tel 03-3266-6366

mail stepbulats@eiken.or.jp

世界と繋がるために

Are you sure your message is getting through?

BULATS

Fast, reliable,
and global

Shu-katsu Counseling

就活の不安を解消しよう

ブンナビ編集長の就活相談ABC

文化放送キャリアパートナーズ 玉造 剛

今年もはや5月。3年生の中にはそろそろ就職活動を意識し始めている人もいないではないでしょうか。今回から始まる本コラムでは、就職活動においてよく寄せられる疑問や不安を取り上げ、ブンナビ編集長である私（玉造）がお答えしていきます。現在、大学3年生の方々に歩調を合わせてテーマ設定をしていきますが、他の学年の方々にも参考にいただければ幸いです。

【今月の質問】
第1回 やりたいことが明確ではないので、どんなインターンシップに参加したらいいのかわかりません。

少しでも興味があればどんどんチャレンジ

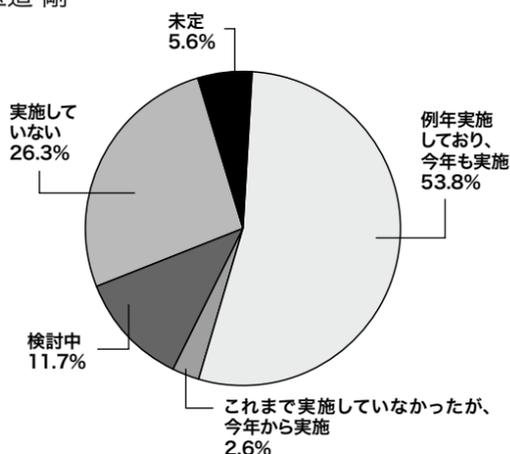
まずは最近の学生のインターンシップへの参加実態からお話しましょう。文化放送キャリアパートナーズの調査によると、昨年度は卒業生の約4割が何らかのインターンシップに参加しています（表1）。その参加者の多くは、複数の企業のインターンシップに参加しており、パターンとしては、1～2週間程度のものを1社、それに加えて、半日～1日の短期のプログラムを2、3社参加するというのが一般的となっています。近年では、特に短期型プログラムが急増しており、インターンシップを実施する上場企業は半数以上にのぼっています（表2）。

それでは、どういった業界がインターンシ

ップを実施しているのでしょうか。製造業や金融業界は積極的に多くの学生を受け入れています。一方で、学生に人気がある商社やマスコミでは実施こそあるものの、選考を課すなどして、受け入れる人数は非常に少なくなっています。マスコミ業界志望だからといって、「インターンシップもマスコミしかチャレンジしません」なんて言っていると、結果、1社も参加できずに終わってしまうことになりかねません。

ここで上記の質問に答えるとすれば、インターンシップは、企業や業界が自分に向いているかを知るための場であって、最初からこの業界と決め付けて参加するものではありません。初めは分からないのが当たり前。選り好みせず、少しでも興味を持ったインターン

表2 インターンシップを実施していますか。



ップがあればどんどんチャレンジして欲しいと思います。思い込みは自分の可能性を狭めることにしかありません。

就職活動のためというのはひとつの側面ではない

インターンシップの参加動機としては、「就職活動のため」と考える学生が多いのですが、インターンシップへの参加によって、就職活動が有利になるということはありません。もし、そう考えている学生がいるとすればそれは誤解です。ほとんどの企業にとってインターンシップは、採用を目的とはしていないのです。しかし、当然参加すれば、その企業・業界についての生の情報を知る機会となるわけですから、就職活動をする上で、他の学生よりも有利になることには違いありません。また、参加の目的が就職活動のためのみと考えているとすると、それはとてももったいないことです。インターンシップには、知識や情報以外にも、得られるものがたくさんあるのです。

例えば、インターンシップには全国の大学から、いろいろな考えを持った学生が集まってきます。そうしたライバルたちと交わることで、周りの就活に対する考え方や、自分よりも優秀な人の存在に気付かされたりと、現時点での自分の課題や足りないものを知ることができます。

さらには、自分の適性に気付くきっかけにもなります。いざ憧れの業界でインターン

してみたけれど、そこでの仕事にまったく興味が持てず、むしろ苦痛を感じてしまうというケースがあるかもしれません。反対に、これまで考えもしなかった仕事に興味を感じるという発見があるかもしれません。

もうひとつ重要なのが「出会い」です。インターンシップでは、初対面の人と何か共通の目的に向かって作業をすることになります。この時、一緒に課題解決に取り組んだ仲間というのは、その後の人生を通じて、深い関係を維持し続けることが多いものです。その後の就職活動でも、共に同じ業界を目指して切磋琢磨

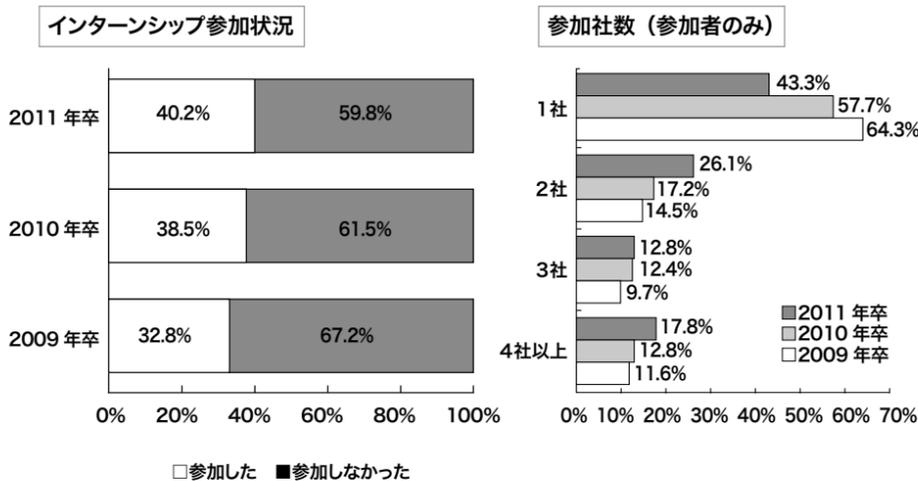
するような、貴重な仲間に出会える機会になります。学生の声を聞いても、「インターンシップを通じて同じ業界を目指す、就活仲間ができた」という好意的な意見が多く、これは実際に参加してみないと気付かないポイントかもしれません。

ざっと挙げただけでもインターンシップの参加にはこれだけのメリットがあるのです。インターンシップを体験した学生と体験していない学生とでは、情報量から心構えに至るまで、相違が開いてしまうのは当然かもしれません。1～2週間の中長期のプログラムでは、これらの効果の多くが得られます。一方、短期のプログラムのみでの参加では、インターンシップのよいエッセンスは得られないと思われるかもしれません。しかし、企業の現場を知るといった目的としては有効です。それぞれ、メリット・デメリットがあるので、上手に組み合わせることが有効に活用するポイントでしょう。そして、漫然と参加するのではなく、明確な目的意識を持って臨むことを忘れないでください。



PROFILE
玉造 剛
 ブナビ編集長。採用コンサルタントとして、採用計画立案から面接官のトレーニングまで、数多くの企業の新卒採用にもかかわる。
 ブナビ
<http://bunnabi.jp/>

表1 インターンシップに参加しましたか？
 参加した方は、何社のインターンシップに参加しましたか？



マレーシア招待研修プログラム参加学生募集！

震災後の日本の復興と再建を担うグローバル人材養成プロジェクト

「ルック マレーシア プログラム」と称し、日本の大学生を夏期休暇中の8月半ばから3週間の期間に渡ってマレーシアへ派遣します。帰国後は、「私とマレーシア」の題材でエッセイを作成しウェブ掲載、最終的に参加学生全員で「日本とアジアの未来の提言」をまとめて発表していただきます。

HP : <http://www.tourismmalaysia.or.jp/>

- 【定員】 10名
- 【参加条件】 首都圏を中心とした4年制大学に在籍する学生。応募締め切りの時点で、年齢18才から25才まで。日本国の国籍を有する方。
- 【参加費】 無料（但し、個人的な費用等は自己負担となります。）
- 【申込み】 2011年6月30日（木）必着。応募申込み書を上記HPからダウンロードし必要事項を記入の上、郵送で提出（E-mailでの提出は不可）
- 【報告会】 2011年9月30日（金）開催の「旅博」会場（於：東京ビッグサイト）
- 【その他】 事前オリエンテーションを7月下旬に開催予定

【主催】 **マレーシア政府観光局**
 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル5階
 【問い合わせ】 ルック マレーシア プログラム運営事務局
 電話：03-5211-7550



University's Challenge

国際交流に取り組む大学

「チャットルーム」で 気軽に外国語に親しむ

青山学院大学

東京・渋谷にある青山学院大学の青山キャンパスでは、「チャットルーム」というシステムで学生同士の国際交流が活発に行われているという。このチャットルームの発案者であるデビッド・リーディー准教授に、活動の目的や学生からの反響などを伺った。

■日本人学生と留学生の交流の場

「学生の多くは、教室で英語を習うだけでなく、実際に話してみる機会がもっとほしいと考えています。一方で、留学生たちは、もっと日本人とかかわる機会がほしい、国際交流にかかわる活動がしてみたいと思っています。双方のニーズを満たす方法が何かないものかと思っていたところ、留学生がリーダーとなり、日本人学生たちと外国語で話をするという、チャットルームの構想が浮かんだのです」と、デビッド・リーディー青山学院准教授。



発案者であるデビッド・リーディー准教授

チャットルームは、青山学院の生徒であれば、誰もが無料で自由に参加できるシステム。基本的なテーマは決まっているが、実際に何を話すかは自由。誰もが気軽に英語で「チャット（おしゃべり）」を楽しめる場なのだ。

間違いを恐れずに話せる

青山学院のキャンパスのほぼ中心にある間島記念館。国際交流委員会によってここにチャットルームが設置されたのは、2008年4月のことだ。英語のほか中国語、韓国語、そして日本人学生がリーダーとなる日本語セッションを実施。人数は、1グループでチャットリーダー1人につき参加者6人まで。平日の午前9時から午後5時まで開室、1回のセッションは約40分。学生はインターネットでスケジュールなどを確認しながら予約することができ、開室以来、年々参加者が増え続けているそうだ。

「学生が英語を自由に話す環境を作るには、『先生』という存在がいてはいけないと考えました。指導してもらえと思うとどうしても受け身になりますし、評価されることによって、間違いを恐れるよう

になります。そこで、留学生たちには指導者ではなく『リーダー』として、会話の進行役を務めてもらっています。もちろん、参加者に興味を持ってもらえるような話題を提供したり、皆同じように話に加わることができる質問を投げかけたりといった工夫は必要になりますが、間違いを直したり、話の内容がよいか悪いか判断したりすることはありません」

各セッションには、「Movie」「Travel」「Fashion」といったトピックが設けられていて、基本的にはそのテーマに沿って話を進めるが、途中で脱線したり、誰かが新しい話題を提供したりといったことが起こっても、いっこうに構わない。友人同士で、英語でごく普通に会話をするような環境が得られるのだ。

また、あらかじめ「Basic」「Intermediate」「Advanced」という3つのレベルに分けてグループ作りをしているので、レベルが合わないことを心配する必要はない。このレベルは自己申告制で自由に選ぶことができるので、「Travelの話題は得意だから、今回はAdvancedにチャレンジしてみよう」と調整することも可能だ。

小学生から大学院生まで

さらに、このチャットルームの大きな特徴は、小学生から大学院生までの青山学院の児童・生徒たちが交流できる場となっているところにある。「高校生と短大生、大学生・大学院生は、同じセッションに参加します。例えば就職活動の話が出たときなど、高校生にとっては、大学生が進路をどのように決めるかを知る、貴重な機会となっています。大学生同士でも、普段別の学部の学生と交流する機会があまりないので、ここで学内のネットワークを広げることができるのです」。初等部と中等部ではそれぞれ個別にセッションを設定しており、やはり英会話を実践してみるよい機会になっているそうだ。

リーダーの要件は「国際性」

チャットリーダーは、同大の留学生の間で人気のポジション。募集を行うと大勢の志願者が集まるが、意外にも、採用されるのはネイティブ・スピーカーの学生とは限らないそうだ。「一番重視しているのは、国際性。フランスで生まれてロシアの学校に通い、大学はニュージーランドといったような経歴を持つ学生が最適です。いろいろな国の情報を提供する



留学生のチャットリーダーを中心に会話が弾む

ことができますし、考え方が英語圏のものに偏ることがありません」。採用後はトレーニングを受け、参加者への質問の方法などをまとめたマニュアルで勉強。チャットルームのセッションがうまく進行する理由は、このようにチャットリーダーの育成を丁寧に行っていることにもあるようだ。

■楽しいから続けられる

今のところ、チャットルームに参加したことによる「上達度」を測る予定はないが、リーダーと生徒にアンケートを取り、チャットルームの運営に反映させるようにしている。例えば、話が盛り上がりにくいとされたトピックは、次第にリストから消えていった。

参加の目的は、大半が「英会話力向上のため」ということだが、実際に体験してみると、「チャットリーダーが面白い、楽しい」「新しい友人ができる」といった声が圧倒的に多く、異文化交流を純粋に楽しんでいる様子がうかがえる。一度利用した学生の多くはリピーターとなり、週に数回または月に数回というペースで通っているそうだ。

一方でチャットリーダーたちは、日

本人学生との交流の場が得られ、さらに英会話力向上をサポートできる活動に非常に満足し、大半が「これからもチャットリーダーを続けたい」「ほかの留学生にも勧めたい」と語っている。

キャンパス移行でさらに発展

青山学院大学では、現在相模原キャンパスで学んでいる人文・社会科学系の1・2年生が、2013年度より、青山キャンパスに移行する予定。青山キャンパスで開かれているチャットルームに、さらに大勢の参加者が集うことだろう。「1・2年生では、英語で話をする機会が少なく、練習の場がほしいという人がさらに多いはず。そういった学生の期待に応えられるよう、これからもチャットルームを充実させていきたいと思っています」



場所は青山キャンパスのほぼ中心にある、間島記念館の中

青山学院大学

「キリスト教教育」「国際交流」「英語教育」を3つの柱とし、幼稚園から大学院までの一貫教育を行っている。大学は、1949年に新制大学として開設。青山キャンパス、相模原キャンパス併せて現在約230人の留学生が学び、国際交流センターが行うイベントやボランティア活動などを通して、盛んな交流が行われている。国際交流センターでは、交換留学や海外語学研修のサポート、学内で留学生を助けるチューターの募集なども行っている。

IELTS

テスト対策

British Council 流

IELTS 対策コラム

第1回

by Alan Milby (British Council 専任講師)

本号から4回に渡ってIELTSテストを受ける際のコツをお伝えします。第1回目にご紹介するのは、全4技能あるうちの「アカデミック・リーディング」の試験でよく出題される“matching information”というタイプの問題に対する対策方法です。

サンプル問題

The Motor Car

A There are now over 700 million motor vehicles in the world - and the number is rising by more than 40 million each year. The average distance driven by car users is growing too - from 8 km a day per person in western Europe in 1965 to 25 km a day in 1995. This dependence on motor vehicles has given rise to major problems, including environmental pollution, depletion of oil resources, traffic congestion and safety.

B While emissions from new cars are far less harmful than they used to be, city streets and motorways are becoming more crowded than ever, often with older trucks, buses and taxis which emit excessive levels of smoke and fumes. This concentration of vehicles makes air quality in urban areas unpleasant and sometimes dangerous to breathe. Even Moscow has joined the list of capitals afflicted by congestion and traffic fumes. In Mexico City, vehicle pollution is a major health hazard.

C Until a hundred years ago, most journeys were in the 20 km range, the distance conveniently accessible by horse. Heavy freight could only be carried by water or rail. Invention of the motor vehicle brought personal mobility to the masses and made rapid freight delivery possible over a much wider area. In the United Kingdom, about 90 per cent of inland freight is carried by road. The world cannot revert to the horse-drawn wagon. Can it avoid being locked into congested and polluting ways of transporting people and goods?

D In Europe most cities are still designed for the old modes of transport. Adaptation to the motor car has involved adding ring roads, one-way systems and parking lots. In the United States, more land is assigned to car use than to housing. Urban sprawl means that life without a car is next to impossible. Mass use of motor vehicles has also killed or injured millions of people. Other social effects have been blamed on the car such as alienation and aggressive human behaviour.

E A 1993 study by the European Federation for Transport and Environment found that car transport is seven times as costly as rail travel in terms of the external social costs it entails - congestion, accidents, pollution, loss of cropland and natural habitats, depletion of oil resources, and so on. Yet cars easily surpass trains or buses as a flexible and convenient mode of personal transport. It is unrealistic to expect people to give up private cars in favour of mass transit.

F Technical solutions can reduce the pollution problem and increase the fuelled efficiency of engines. But fuel consumption and exhaust emissions depend on which cars are preferred by customers and how they are driven. Many people buy larger cars than they need for daily purposes or waste fuel by driving aggressively. Besides, global car use is increasing at a faster rate than the improvement in emissions and fuel efficiency which technology is now making possible.

G Some argue that the only long-term solution is to design cities and neighbourhoods so that car journeys are not necessary - all essential services being located within walking distance or easily accessible by public transport. Not only would this save energy and cut carbon dioxide emissions, it would also enhance the quality of community life, putting the emphasis on people instead of cars. Good local government is already bringing this about in some places. But few democratic communities are blessed with the vision - and the capital - to make such profound changes in modern lifestyles.

H A more likely scenario seems to be a combination of mass transit systems for travel into and around cities, with small 'low emission' cars for urban use and larger hybrid or lean burn cars for use elsewhere. Electronically tolled highways might be used to ensure that drivers pay charges geared to actual road use. Better integration of transport systems is also highly desirable - and made more feasible by modern computers. But these are solutions for countries which can afford them. In most developing countries, old cars and old technologies continue to predominate.

Questions 14 - 19

Sample passage above has eight paragraphs labelled A-H.

Which paragraphs contains the following information?

Write the correct letter A-H in boxes 14-19 on your answer sheet.

NB You may use any letter more than once.

14 a comparison of past and present transportation methods

15 how driving habits contribute to road problems

16 the relative merits of cars and public transport

17 the writer's prediction on future solutions

18 the increasing use of motor vehicles

19 the impact of the car on city development

ANSWERS: 14 C 15 F 16 E 17 H 18 A 19 D

※ Cambridge ESOL 公式 HP より Academic Reading sample task — identifying information
<https://www.teachers.cambridgeesol.org/ts/exams/academicenglish/ielts>

質問意図をしっかりと理解しよう

IELTS のリーディングテストは、複数のパラグラフ（段落）から構成される長文を読み、その内容に関する質問に答えていくテストです。3つの長文についての40問の質問を60分の制限時間内に解答します。中には単語やフレーズを解答する問題もあるので、解答する際にはスペリングなどに気をつけましょう。

では、このようなリーディングテストではどのような点に注意すべきでしょうか。それは、質問の意図を正確に理解することです。リーディングテストにはいくつかのタイプがあります。例えば、文章から特定の情報を探し出す問題、文章の主題をつかむ問題、文章に適した見出しをつける問題、図表の穴埋め問題、あるいは正誤問題などです。問題のタイプに応じて、解答に対するアプローチが変わってきます。どの問題においても、質問の指示を注意深く読み、質問意図を理解するように努めましょう。それが正しい回答への近道です。

付け加えますと、こうしたさまざまな角度から出題される問題に取り組んでいる最中に、語彙力の点で足を引っ張られないようにしたいものです。語彙力の向上にも力を入れましょう。語彙力があればあるほど、より余裕をもってテストに臨めます。

パラグラフごとに繰り返し問題を確認する

すでに述べたように、リーディングテストの問題にはタイプがいくつかありますが、今回はその中から“matching information”というタイプの問題で必要なテクニックをお伝えします。この問題では、左にあるサンプル問題のようにいくつかのパラグラフ(A,B,C...)に分かれた長文の中から、特定の情報を見つけることが求められます。問題が求める情報を文章の中から見つけたら、その情報を含むパラグラフの記号を解

答用紙に記入します。この種の問題では、文章全体の主題をとらえるというよりは、特定の情報を文章から素早く読み取る能力が試されます。

短い時間の中で効率よく特定の情報や例、理由、描写、比較、要約、説明などを探すにはいくつかのコツがあります。例えば、文章全体のタイトルもヒントのひとつです。タイトルからは文中で何を追って読めばよいか直感的に分かることもあります。あるいは、文中にある図表やイラストにも注意が必要です。何かをつかめるかもしれませんが、一方で、まったく関係ない場合もありますので、それも頭に入れておくべきでしょう。

また、問題の数とパラグラフの数一致するとは限りません。問題には直接関係のないパラグラフもありますし、逆に2つ以上の解答に関する情報を含んでいるパラグラフもあります。これらのコツを頭の片隅に置いておきましょう。

さて、いよいよ“matching information”への具体的な取り組み方についてお話します。このタイプの問題に有効なのは、パラグラフごとに問題を確認することです。つまり、最初のパラグラフを読んだら、すべての質問を確認し、いずれかの質問と最初のパラグラフが関係あるかを確認します。それをすべてのパラグラフで繰り返していくのです。この際、質問とまったく同じ単語が文中にあったからといって、すぐに関係があると飛びついてはいけません。探るべきは情報であって、単語ではありません。

また、この過程で解答できる質問もあるかもしれませんが、パラグラフを読み進める中で、真の解答が出てくる可能性もありますので、すべての質問に毎回目を通すようにしましょう。この繰り返しで間違いのリスクを減らし、あなたを好結果へと導かずです。

健闘を祈ります!!



世界が認める人材へ、
世界が認めるIELTSで

The test that opens doors around the world

IELTS™

- IELTS (アイエルツ・International English Language Testing System) は英語圏への留学や、移住を志す人のための英語運用能力試験
- 信頼性、公平性の高さからイギリス、オーストラリア、アメリカ、カナダ等の135の国と地域・6000以上の大学・政府機関・多国籍企業で採用、全世界で年間150万人が受験
- 日本では、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、福岡、札幌、仙台、新潟、金沢で開催
日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルの共同運営により利便性が向上
- ペーパーベースで筆記は記述中心、スピーキング試験はネイティブスピーカーの試験官との1対1の面接形式
- 生きた英語を学び取れる、実際の場面に即した出題形式
- ブリティッシュ・カウンシルではIELTS試験対策コースを東京・横浜で開講 www.britishcouncil.or.jp

お問い合わせ・受験申し込みは(財)日本英語検定協会IELTS事務所まで www.eiken.or.jp/ielts

BRITISH COUNCIL

財団法人 日本英語検定協会

(財)日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルは、日本のIELTSを共同運営しています。

This month's selections from The Japan Times

Trilateral summit enhances regional ties

Leaders to cooperate with disaster plansAlex Martin
STAFF WRITER

Prime Minister Naoto Kan, his Chinese counterpart and South Korea's president agreed on May 22 to enhance cooperation on a range of programs — including nuclear safety and disaster management — in light of the crisis at the Fukushima No. 1 nuclear power plant.

Expressing their condolences to the victims of the March 11 earthquake and tsunami that crippled the power plant and ravaged coastal areas of northeastern Japan, Kan, Chinese Premier Wen Jiabao and South Korean President Lee Myung Bak also said that cooperation will be essential to accelerating Japan's recovery.

"In times of natural disasters of this scale, mutual understanding, assistance and support from the international community, especially neighboring countries, are of crucial importance," Wen said at a joint news conference in Tokyo.

To forestall another nuclear disaster, the leaders pledged that Japan, China and South Korea will work toward building a close network that experts can use to exchange and access information.

Kan thanked the two leaders for visiting disaster-stricken areas and sampling produce from Fukushima Prefecture the previous day, saying he believed that "their visits were effective in demonstrating to the world that Japan is safe and Japanese food is safe."

"I hope that, as a result, many people from around the world will begin visiting Japan," Kan said. "People visiting will provide the greatest support for Japan's reconstruction."

Earlier, Wen told Kan that China will partially ease restrictions on imports of Japanese agricultural products, provided the Japanese government ensures their safety.

The move will apply to Yamagata and Yamanashi, reducing to 10 the number of prefectures subject to the ban.

In a joint declaration issued after a two-day summit, the three leaders also agreed to facilitate joint programs on renewable energy and energy conservation to avoid excessive dependence on nuclear power.

On disaster prevention, the three countries laid down the principles of how each can cooperate in emergencies, based on the lessons learned so far from the March 11 disasters.



All hands on deck: From left, Chinese Premier Wen Jiabao, Prime Minister Naoto Kan and South Korean President Lee Myung Bak speak at a joint news conference on May 22, following their trilateral summit meeting. KYODO

Besides sharing information and dispatching rescue teams and supplies, the three nations also said they will consider staging joint rescue drills.

Economically, the three nations agreed to further promote tourism in the region, confirmed the importance of expanding their aviation networks and agreed to speed up their visa processes.

The three also agreed to speed up preparations for a trilateral free-trade agreement and promised to work toward an early agreement on a trilateral investment treaty.

Regarding North Korea, the lead-

ers expressed their concern about the reclusive nation's uranium enrichment program and stressed the importance of the North holding dialogue with South Korea. They also stressed the importance of working to create an environment that will enable resumption of the six-party de-nuclearization talks.

"In order to realize a nuclear-free Korean Peninsula, cooperation between the three nations is necessary," Lee said.

The trilateral summit was the fourth of its kind since the three agreed in 2008 to take turns hosting the meeting each year to enhance communication and cooperation.

Japanese low-cost carrier hopes for fruitful flightsMizuho Aoki
STAFF WRITER

The operator of Japan's newest budget carrier announced May 24 that the airline will operate under the brand name Peach.

The company also changed its name to Peach Aviation Ltd. from A&F Aviation Co.

The carrier was founded in February with an investment of around ¥30 million from All Nippon Airways Co. and Hong Kong's First Eastern Investment Group.

With Innovation Network Corporation of Japan joining the group in March, ANA, First Eastern, and INCJ now hold 33.4 percent, 33.3 percent and 33.3 percent of the carrier's shares, respectively.

The airline said it chose the name based on the fruit's Asian origin and because it invokes a youthful, energetic and generous image. To embody the image, the carrier's aircraft will be painted pink and fuchsia.

Based at Kansai International Airport in Osaka, the low-cost carrier plans to start domestic flights next March, connecting Fukuoka and Sapporo. International flights between Kansai airport and Incheon International Airport near Seoul are expected to start next May.

The company said it plans to increase the number of employees from the current 50 to around 200 by next March.

The company aims to hire staff regardless of nationality, CEO Shinichi



Bearing fruit: Shinichi Inoue, CEO of Peach Aviation Ltd., holds a model of the low-cost carrier's aircraft during a news conference to announce the brand name in Osaka on May 24. He later spoke at a separate news conference in Tokyo. KYODO

Inoue said at a news conference in Tokyo.

Inoue declined to disclose the planned ticket prices but said they would be substantially lower than those offered by major carriers.

"It'll be meaningless if we don't offer the prices that no one has seen," he said.

Peach will be the first Japanese low-cost carrier to operate from Kansai airport.